

第4回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：平成30年3月6日(火) 19:00～20:40

場所：市役所第一会議室

日程

1. 開会（会長あいさつ）
2. 若い世代の参加状況について（事務局説明）
3. ワールドカフェ
 - ①テーマについて話し合おう
 - ・みなさんが参加する理由、若い世代が参加しない理由
 - ②テーマについて話し合おう
 - ・参加を促す改善策とは？
行政・会社・市民団体・個人…それぞれの立場から
 - ③ほかのテーブルを見て話し合おう
4. 総括（会長、事務局）
5. アンケート・委員への連絡事項
6. 閉会

出席者（敬称略）

（委員）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇紀文
佐古 廣 徳尾 勝 松本幸永 門脇京子 渡部敏樹

（事務局）

沼倉加奈子（地域振興課長） 木下泰恵（地域振興課長企画係長）
渡部大樹（地域振興課企画係主事）

欠席者（敬称略）

土田良和 佐名木歩実

ワールドカフェ参加者

市民13名

傍聴者

なし

<開会>

(会長)

皆さん、こんばんは。お疲れのところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、ご案内のとおり、今年度の取組テーマ「若い世代の参加」について、ワールドカフェをしたいと思います。委員の皆さんには、それぞれ若い方を連れてきていただいております。ご尽力いただきありがとうございます。また、今回初めてご参加される皆さんも、お忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。前回、委員間で協議を行い、委員の皆さんで何ができるか話し合っていたいただき、一つ若い世代を呼んでワールドカフェをしようということがありまして、本日、集まっております。

ワールドカフェという言葉も聞き馴染みがないかもしれませんが、要は、お茶やお菓子を食べながら、カフェのような雰囲気でお話し合おうというものですから、どうか肩肘を張らず、リラックスしてお話ししていただけたらと思います。

では、このあとの進行は事務局に任せたいと思います。

(事務局)

それでは、まず、今回の取り組みテーマ「若い世代の参加」について説明します。まず、「若い世代」についてですが、この会議においては、大体20代～40代の地域やPTAといったコミュニティで実際に主として活動されている、もしくはそれが期待される「働き盛り」の年代を若い世代としています。そして、その世代の参加が近年減少しており、いろいろなところで成り手不足だという声が聞こえてきます。では、なぜ若い世代は参加しないのか。参加を促すにはどうしたら良いかということはこの会議で話してきました。過去には島根大学の学生の意見も聞きました。委員の中で話し合いもしました。そして、今回、市内に住む10代から40代の方に集まっております。ワールドカフェという形で、意見を聞いてこのテーマの集大成としようという運びになりました。

それでは、次第にあります「(1)若い世代の参加状況について」について、説明いたします。

資料①をご覧ください。

「各世代の投票率」としまして、直近4回の選挙における各世代の投票率をまとめております。境港市における数値は特定の1区を抽出して集計したものではありませんが、若い世代においては、全国平均を下回る傾向が強いことが分かります。選挙管理委員会の分析によると、住民票を残したまま市外の大学等に進学する学生が不在者投票をしないことも原因の一つであるようです。

続いて、資料②をご覧ください。

こちらには過去のみんなでまちづくり推進会議での若い世代の意見や、他の審議会やアンケートでの意見をまとめております。平成28年4月には、島根大学の毎熊准教授のもと、島根大学の学生と一緒にワールドカフェをしました。そのほか、委員間でのワークショップを28年と29年に1回ずつ行っております。次のページには、「境港市議会と市内高校生との懇談会」や「境港市民交流センター（仮称）基本設計 高校生市民ワークショップ

ップ」、「境港市議会と若者農業者との懇親会」、「まちづくり若者委員会」での意見をまとめております。

資料③をご覧ください。

こちらには、前回のみんなでまちづくり推進会議にて出た意見をまとめております。こちらは、若い世代の政治参加について、政治に参加しない理由と参加を促す解決策について話し合いました。

資料は以上です。以上の資料を参考にしながら、皆さまにはワールドカフェをしていただきたいと思っております。

(事務局)

それでは、次第にあります「(2) ワールドカフェ」に移りたいと思っております。

初めに会長からも話がありましたが、ワールドカフェとは、カフェテーブルでゆったりした気分で話し合うことで、生き生きとした意見交換や新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた話し合いの手法です。今回は、お手元の模造紙に、意見を書いた付箋を貼ってもらうという形とします。本来は、度々メンバーチェンジをしながら、意見交換するのですが、時間の都合上、今回は、4つのグループに分け、最終的にはほかのテーブルを見に行くことで、いろいろなアイデアを共有できればと考えています。各テーブルにはあらかじめホストを任命しています。ホストというのは要は進行役です。1班は沼倉地域振興課長、2班は松本会長、3班は木下地域振興課係長、4班は門脇副会長です。ホストの皆さまは班の中で司会進行をしていただき、一人の方ばかりが話さないよう話を振ってもらったり、意見を付箋に書くよう促してもらったりをお願いします。また、ワールドカフェにおいては、意見をまとめる・取捨選択するということはしませんので、ホストの皆さんもご協力をお願いします。

それでは、準備をお願いします。まず、模造紙に縦に線を入れてください。それから、真ん中から左に線を引いてください。左側上部には「みなさんが参加する理由」下部には「若い世代が参加しない理由」について、各々が付箋に書き、貼っていきます。この時計で19時45分まで話し合いをお願いします。それでは、始めてください。

①テーマについて話し合おう ・みなさんが参加する理由、若い世代が参加しない理由

※委員・事務局が4つのテーブルに分かれ討議

○主な意見

「みなさん（私たち）が参加する理由」	「若い世代が参加しない理由」
・親に言われたから／声をかけてもらうから ／嫌とは言えない人に誘われたから ・知り合い・友達を増やしたい／知らない人	・面倒くさい／分からない ・時間的な余裕がない／自分の趣味・仕事・子育てに忙しい／

<p>に会ってみたい／面白い人に出会える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と人との繋がりを大切にしたい ・仕事をやめて時間がある ・地域の役に立ちたい／境港や地域への愛 ・ボランティアが好き ・人の笑顔が見たい ・自分のためになる／自分の成長に繋がる ・世間体を気にして（やっていないとは言いづらい…） ・自分の考えや経験を伝えられる ・人の意見を聞いてみたい ・政治・投票は自分の考えを反映してくれそうな人がいたら応援・投票する ・自分の活動で何かが変わるとやりがいを感じる ・自分の熱意と一致するならボランティアでも参加する ・PTA行事が子どものためになるなら参加する ・地方（田舎）だからこそやる（一人一人の力が重要） ・頑張っている人に協力したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・人見知り／恥ずかしい／地元だと恥ずかしい／参加しても溶け込めない ・繋がりやツテがない ・情報がない／行事自体の存在を知らない ・自分が求められていると思わない ・自分に出来る自信のないことには参加しないようにしている／役不足 ・時間を割いても、面白みやうま味がない ・世代に格差があつてなかなか入り込めない ・若い世代の意見をよく聞かない ・誘い方が下手／直接誘われていない ・習慣がない ・個が中心で他人に関心がない／個人では参加しづらい ・参加することによるメリットを考えてしまうため（特に即効性のあるメリット）／メリットが示されていない ・やりたくてもどう参加したら良いか分からない ・自分がいてもいなくても影響がない ・20代～40代だけの集まりがない ・行事が慣例で嫌々参加しているような人の集まりになっている ・行政に自分の考えが反映されたことがない ・よそから引っ越してきて受け入れられていないと感じて参加していない ・高齢者と若者の考えにギャップができている
--	---

（事務局）

時間となりましたので、次に進みたいと思います。参加する理由、しない理由、いろいろな意見が出たかと思いますが、これを踏まえて、参加を促すにはどうしたら良いのか、意見を出していただきたいと思います。模造紙の右側に「参加を促す改善策とは？」と書いていただき、また、付箋を貼って行ってください。20時15分までお願いします。

②テーマについて話し合おう ・参加を促す改善策とは？

行政・会社・市民団体・個人…それぞれの立場から

「参加を促す改善策とは？」

- ・インパクトのある広報／大きなPR（市報で一面使う・テレビCM）／回覧板以外の方法／SNSの活用
- ・行事の企画から若者にさせる
- ・子どもたちが参加できる活動を増やす（親も来る）／親と子どもの農業体験・料理体験
- ・お得感を与える／献血のような参加賞／食事会／日当あり
- ・「あなたが必要なんだ！」と伝える
- ・責任のある役を持たせてあげる
- ・若い世代の意見を優先して聞くようにする
- ・子どもの頃からの教育／子どもの頃から行事に参加させる／個人主義ではなく、みんなで協力することの大切さを教える
- ・つかんだら離さない！
- ・横の繋がりを強くする
- ・年代を限定した選挙・行事・イベント
- ・参加のハードルを下げる（2回、3回と参加すると役を任せられそうというイメージを払拭する）
- ・その世代のリーダーを巻き込む
- ・会の目的をはっきりさせる／メリットをしっかりと伝える／どんな人がいて何をしているかを発信する
- ・ボランティアや選挙にポイントをつける
- ・義務に非ず、有志であるという「前提」で参加してもらう
- ・言葉づかいに気をつける
- ・慣例ばかりでなく、新しい取り組みで興味をひく／参加した楽しさを感じられる会にする
- ・世代を超えた交流（子どもから高齢者、地域ぐるみで）を普段からしておく
- ・何がしたいかアンケートをとる
- ・自治会に入らない理由を話す（全てなくしたらどうなる？）
- ・投票は投票しないと罰金を科す（オーストラリアは3万円）
- ・地域・学校・行政の連携を強くする
- ・何かの決め事を若者にさせる
- ・それぞれの地域に合った参加度があるはず。境港市の目指す形は？

（事務局）

お話し中のところすみませんが、時間となりましたので、ここで一端切らせていただきます。各テーブルで色々な意見が出たかと思しますので、それぞれのテーブルを見て回りたいと思います。班のうち、どなたでも良いので、半分の方、6人であれば3人の方が立

っていただいて、見て回ってください。気になった意見があれば、残っている班の方に聞いてみてお話ししてください。一通り見て回ったら、班の中で交代してください。(傍聴がいれば…よろしければ傍聴されている方も一緒に見て回ってください)

③ほかのテーブルを見て話し合おう

(事務局)

みなさん、全て回られましたでしょうか。それでは、総括に移りたいと思います。会長お願いします。

(3) 総括

(会長)

私も回らせていただきまして、一番多かったのは若い世代の方に合わせた情報発信を行うということ、また、そのためにその世代のリーダーを上手に巻き込んでいくと情報の拡散が早いという意見がありました。それから、お子さんをお持ちの方でしたら、お子さんが親を引っ張っていくような魅力あるもので引き込んでいき、親同士も交流していくというのが良いという意見がありました。以上のような意見が印象に残りました。

(事務局)

ありがとうございました。続いて、事務局を代表して、地域振興課長お願いします。

(地域振興課長)

今日は皆さまお疲れ様でした。本当にたくさんの意見が出ましたし、これまでの委員だけの会議とはまったく違う意見がたくさん出たのではと思っています。第5期の委員の皆さまはもうすぐ任期が終了しますが、これまで取り組んできた「若い世代の参加」について、報告書を作成することになっていますが、今日の意見は本当に参考になったと思いますし、「行政参加」という言葉でのご発言もあったことかと思っていますので、これからこういったところに配慮していきながら行政のあり方というのを考えていきたいと思っています。皆さまにおかれましても、ここで出たご意見・ここで得たつながりを大事にいただきながら、色々な場面で若い世代の参加が増えていくことを期待しております。今日はありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。以上で、ワールドカフェを終了いたします。

(4) アンケート・委員への連絡事項

(事務局)

それでは、次第のアンケート・委員への連絡事項に移りたいと思います。参加者の皆さまには、お手元のアンケートをご記入いただければと思います。その間、委員の皆さまには連絡事項がありますので、報告いたします。委員の皆さまにはこのあと、アンケートとは別に、第5期のふりかえりシートをお配りします。こちらは、委員の感想として、報告書に記載したいので、3月9日（金）までにご記入いただき、地域振興課までご提出いただきますようお願いいたします。

続いて、次回の推進会議についてですが、以前、お知らせしたとおり、3月19日（月）に開催します。また、案内を出させていただきますが、それに先立って、事務局から事業報告書の案を送付させていただきますので、当日は、それについての最終確認をしたいと思っております。

続いて、市民活動推進補助金について、報告させていただきます。課長お願いします。

（地域振興課長）

初めにご説明すべきでしたが、境港市市民活動推進補助金という市民団体が行う事業に対しての補助金がありまして、この補助金審査をこの会議の委員の方が行っています。そのほかに、委員の方には、市はこのようなまちづくりをしてはどうかという提言をしてもらうという役割があり、本日のワールドカフェもその一つであります。3月で第6期の新たな任期が始まり、本日は、新委員の何名かの方にもお越しいただいております。

さて、市民活動推進補助金の改正についてですが、補助金審査の際にもお話しさせていただきました要綱と募集要項の改正について、3点改正をいたしました。1つ目は、審査会の日程の関係で、5月の中旬以降の事業しか対象にならなかったのですが、4月・5月の事業についても補助対象とできるよう3月中の募集の枠を新たに設けました。この募集が3月1日から始まっております。次期委員の皆さまで3月中に審査をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。2つ目は、書籍や写真集といった出版物の作成については、自費出版すべきだという考えから、補助対象外とすることとしました。3つ目は、団体の負担を軽減するために、概算払の上限を4割から8割に広げることとしました。また、市民活動推進補助金がなかなか知られていないというところもありますので、チラシを作る際は、可能なかぎり、補助金事業であることを明記してもらうなどの軽微な改正も行っております。

（事務局）

事務局からの報告は以上になります。最後に会長から一言お願いします。

（会長）

先ほど、課長からもありましたが、本当に色々な意見が出て、とても良い会になったかと思えます。テーマにかなり幅がありましたが、それでも、「そういう見方・考え方があるか」と感じて、「ちょっとやれそうだな」と思われた方もあるかと思えます。本当に今日は

お声掛けに応じていただき、お忙しいところご参加していただきありがとうございました。委員の皆さまも今期で卒業される方もありますが、引き続き、色々な方のご意見を聞いて、自分のプラスにさせていただき、さらに、さらに、まちづくりを進めていけるようにしていただけたらと思います。本日は、本当にありがとうございました。

<閉会>